

国際化学肥料ニュース (2021年4月)

肥料業界の2021年4月動態

- * 4月5日、イスラエルのICL社はインドIPL社 (India Potash Ltd.) と2021年塩化加里輸入基本契約を締結した。2021年12月末までCFRインド280ドル/トンで60万トン塩化加里 (ほかに5万トンオプションあり) を供給する内容である。この価格は昨年より50ドル/トン高くなっている。

- * 4月5日、ベラルーシのBCP社とインドIPL社が2021年塩化加里輸入基本契約の再交渉結果を発表した。2021年1月に締結された契約が破棄され、新しい契約条件はCFRインド280ドル/トンで2021年12月末まで80万トン塩化加里を供給する内容である。2021年1月に締結された契約はCFRインド247ドル/トンであるが、他の大手加里メーカーが低すぎると反発し、同じ条件での契約を拒否した。そのため、インドの塩化加里輸入が滞り、インド側が仕方なく、値上げ要求を飲んだ。

- * 4月第2週、ほとんどの主要地域の尿素価格が第1週に引き続き軟化している。インドRCF社の尿素国際入札で契約数量が予測の半分しかないため、中国尿素のFOB価格が先月より30~40ドル/トンも安く、320ドル/トンに下がった。エジプト産尿素も2月のFOB370ドル/トンを超えた高値から350ドル/トン未満に下がった。5月上旬CFRアメリカNolaの尿素が3月末より約40ドル下げ、362ドル/トンで取引されている。ブラジルもCFR380ドル/トンまで下がった。5月以降はさらに下がり、正常の価格帯にゆっくり戻るだろうと予測される。

- * 中国りん酸化成肥料工業協会の最新データによれば、2020年中国のリン酸肥料生産量がP2O5換算で1.3%減の1590万トン、そのうちDAP生産量が5.3%減、MAP生産量が逆に6.0%増である。

- * 4月第3週、尿素国際相場の下落が続く。主な輸出地の中国はオファーが減少しているため、FOB価格が320ドル/トン前後に推移して、2月上~中旬の高値から約30~40ドル/トン安くなっている。エジプトでは輸出業者がFOB345ドル/トン以下の価格を提示しているが、契約しようとする相手がほとんどいない。
輸入側ではCFRアメリカNolaは先週より20ドル/トンも下がり、350ドル/トン前後で交渉している。ブラジルもCFR価格が先週より約25ドル/トンも下がった模様。ただし、インドMMTC社が4月下旬~5月上旬に新たに尿素国際入札を行う噂があり、中国と中東の尿素メーカーがそれを期待している。

- * 中国税関の速報によれば、3月中国の化学肥料輸出量が0.4%減の269万トン、その内訳は硫安が13%増の87万トン、尿素が37%増の37万トン、DAPが32.5%減の52万トン、MAPが63.6%減の20万トン。1~3月の化学肥料輸出量が15.1%増の622万トン、その内訳が硫安24.4%増の216万トン、尿素が2.1%増の80万トン、DAPが13.4%増の92万トン、MAPが0.5%増の59万トン。
一方、3月の化学肥料輸入量が32.3%増の127万トン、その内訳は塩化加里が45.5%増の112万トン、NPK化成肥料が10.6万トン。
- * 新型コロナウイルスの猛威で、バングラデシュが全国緊急事態を宣言し、4月14日から1週間のロックダウンを実施する。そのために3月下旬発表、4月上旬に行なったDAP75万トンと重過石15万トン、粒状MAP5万トンの国際入札の締切開札と契約が遅延されることになった。
- * インド政府農業省は輸入業者からの塩化加里とDAP小売価格の引き上げ申請を許可した。4月から塩化加里の小売価格が40ドル/トンを引き上げ、269ドル/トンにして、DAPも511ドル/トンに引き上げた。化学肥料の輸入価格が高騰しているが、インドの2021~2022年度の肥料補助金(NBS)は現状維持または小幅な増加する予定で、輸入業者は負担を軽減するために輸入コストの一部を農家に転嫁することで、厳しい経営状況を改善することができる。
- * 4月第4週、尿素の国際相場は緩やかな下落を続けている。主な理由はインドMMTC社が予定している新しい尿素国際入札は新型コロナウイルスの再蔓延によりインド国内に深刻な混乱を引き起こし、入札が5月上旬に延期されるという懸念があるためである。ただし、中国メーカーと商社は値下げをしないという強固なスタンスを取っている。また、サウジアラビアは輸出量を減らしたことも相場の持ち直しに役立ち、FOB中東湾岸は週前半に320ドル/トンまで下がったが、週末には340ドル/トンに戻された。西半球では、エジプトは5月の輸出量を確保するため、ヨーロッパ、トルコのほか、ラテンアメリカにも積極的に売り込みを行った。FOBエジプト330~335ドル/トンに下がった。
- * 4月26日、インドMMTC社が新たに尿素国際入札を発表した。購入数量不定、6月21日まで船積みという条件である。5月4日締め切りと開札、5月11日購買数量決定。これは今年インド2回目の尿素国際入札である。消息筋によれば、価格が納得する場合は150万トンを購入する権限があるという。
3月末に行われた前回のインドRCF社の尿素国際入札では、CFR東海岸/西海岸379.87~380.18ドル/トンで800,000トン強を契約した。今回は国際相場がやや弱い

状態で、中東及び中国尿素の FOB 価格が前回 RCF 入札時より 15 ドル/トン以上下回っている。また、エジプト、アルジェリア、ウクライナなども供給過剰の圧力が高まって、インドへ尿素を供給する可能性が高くなっている。

- * 4 月末、ヨルダンの APC 社がインド IPL 社 (India Potash Ltd.) と 2021 年塩化加里基本契約を締結した。2021 年 12 月末までに CFR280 ドル/トンで 30 万トン塩化加里 (ほかに 5 万トンのオプションがある) を供給する。これは 4 月 5 日イスラエル ICL 社およびベラルーシ BCP 社がインド側との基本契約の価格と同じである。
- * 4 月第 5 週の尿素国際相場が安定して、一部の地域では価格が上昇する傾向が見られた。これは主にインド MMTC 社が 4 月 26 日に新たな尿素国際入札を行ったことに中国と中東の輸出業者が反応した。ただし、買い手はそれに応じず、全くビジネスが成立していない状況でもある。

大手各社の営業業績

- * ロシアの PhosAgro 社は 2021 年第 1 四半期の業績を公表した。肥料生産量が 2.3%増の 261.4 万トン、その内訳は窒素肥料が 2.3%増の 63.1 万トン、リン酸系肥料が 2.3%増の 198.3 万トン。リン鉱石採掘量が 2.1%減の 289.2 万トン。肥料販売量が 2.6%増の 286.4 万トン、その内訳は窒素肥料が 12.0%増の 78.7 万トン、リン酸系肥料が 0.5%減の 207.7 万トン。
- * ノルウェーの Yara 社は 2021 年第 1 四半期の業績を公表した。アンモニア生産量が 6.9%減の 179.2 万トン、化学肥料生産量が 2.8%減の 515.9 万トン、販売量が増減なしの 684.1 万トン。ただし、化学肥料販売価格の上昇で、売上高が 10.18%増の 31.4 億ドル、EBITDA が 14.68%増の 5.86 億ドル、純利益が昨年同期の 1.19 億ドル赤字から 1400 万ドルの黒字に転換した。
- * ロシアの Acron 社は 2021 年第 1 四半期の業績を公表した。売上高が 62%増の 241 億 2200 万ルーブル、EBITDA が 188%増の 109 億 7000 万ルーブル、純利益が昨年同期の 10 億 7400 万ルーブルの赤字から 5 億 6040 万ルーブルの黒字に転換した。
- * カナダの Nutrien 社は 2021 年第 1 四半期の業績を公表した。加里肥料の販売量が 10%増の 315.7 万トン、窒素肥料販売量が 5%減の 240.3 万トン、リン酸肥料販売量が 8%減の 70.2 万トン。ただし、販売価格の高騰で、売上高が 11%増の 46.58 億ドル、EBITDA が 59%増の 8.06 億ドル、純利益が昨年同期の 3500 万ドルの赤字から 1 億 3300 万ドルの黒字に転換した。

肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- * ロシアの Acron 社はノヴゴロドにある窒素肥料工場に 1.9 億ドルを投資して、2 つのアンモニア合成プラントを改造すると発表した。改造工事は 2023 年完成し、年間 37.5 万トンアンモニアの増産が見込まれる。Acron 社は現在 3 つのアンモニア合成プラントを有し、年間生産能力 220 万トンであるが、改造完了後、生産能力が 257.5 万トンに増える。
- * ロシアの Acron 社が所有の OleniyRuchey リン鉱山は最新の調査により、リン鉱石資源量が 200 万トン増加し、採掘年数が 2025 年まで延ばすことができる。OleniyRuchey リン鉱山は Acron 社の主力リン鉱山の一つであり、2012 年採掘を開始して、年間 100 万トンリン鉱石を露天採掘する能力がある。
- * ロシアの TOAZ PJSC 社は建設中の 3 番目尿素生産ラインが順調に進み、2021 年末に完成、2022 年初頭稼働することを発表した。当該尿素生産ラインが 2018 年 10 月着工、投資額 250 億ルーブル。完成後の生産能力が 2200 トン／日である。
- * ロシアの PhosAgro 社は Volkhov 工場に新たな MAP 生産ラインを建設することを発表した。280 億ルーブルを投資して、年間生産能力 30 万トンの MAP 生産ラインを建設し、2025 年までに完成する計画である。
- * エジプトの Abu Qir Fertilizers 社は所有の Abu Qir 3 尿素生産ラインを改造して、生産能力を 1940 トン／日から 2370 トン／日に増加させる計画を発表した。改造工事は Maire Tecnimont Group の Stamicarbon 社が担当し、2025 年に完成する予定である。Abu Qir Fertilizer 社はエジプトと中東で最大の窒素肥料の生産者の 1 つであり、エジプトの全窒素肥料の約 50%を生産している。

その他

- * イスラエルの Haifa Chemicals 社はアメリカコロラド州に行った裁判で勝訴し、中国会社が使っている Israel Haifa Chemical Industry Co., Ltd.の名称は Haifa Chemicals 社の名称と商標を侵害することが認定され、その名称を世界各国と地域で永久禁止する判決を下した。2019 年 12 月中国の海法亚姆化工(青島)有限公司が Israel Haifa Chemical Industry Co., Ltd.の名称を使って、中国国内に肥料事業を展開している。

- * スリランカの新聞報道によれば、スリランカ大統領 **Gotabaya Rajapaksa** 氏は化学肥料による水質汚染と病気誘発を防ぐため、遠くない将来にすべての化学肥料の輸入を禁止し、その代わりに政府が有機肥料の生産と使用を進めることを述べた。